

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会球磨支部

抑制カボチャの収穫、出荷が始まります

球磨地域では、川辺川土地改良事業に係る造成団地などの広大な土地を有しており、露地野菜の生産拡大に取り組んでいます。このような中、新規露地野菜である抑制カボチャの栽培面積は、平成25年に1.5haでしたが、平成28年では8haと拡大しました。

球磨地域での栽培品種は「くりゆたか」であり、8月の播種、9月の交配を経て、10月下旬以降が収穫時期となっています。本地域の生産においては1株1果を基本としており、1果当たり2kg以上の大玉生産を目指しています。10月下旬に開催された出荷査定会では、生産者が集まり出荷に向けた選別基準などを確認しました。また、カボチャ果実の大きさを競う「カボチャ自慢コンテスト」の開催も決まりました。

球磨支部では、カボチャの大玉生産を目指し、稼げる品目としてさらなる生産拡大に向けた支援を行っていきます。



カボチャの栽培状況



出荷に向けた査定会